



# 気温が高くなりました 食中毒にご注意を！

令和2年6月3日  
富山県感染症情報センター

(0766-56-5431 直通)  
(0766-56-8142 細菌部)  
(0766-56-8143 ウイルス部)

## 感染症発生動向速報

(令和2年第22週分・5月25日～5月31日)

### 《 インフォメーション 》

#### ●食中毒に注意しよう

今週、感染性胃腸炎の報告数は、定点医療機関あたり1.69人となり、先週

(1.52)から増加しました。感染性胃腸炎は、細菌またはウイルスなどの病原体による嘔吐、下痢を主症状とする感染症です。一年を通じて報告され、冬季から春季にかけて、ウイルス性胃腸炎(ノロ

ウイルスやロタウイルスなど)が多く報告されます。夏季には細菌性胃腸炎、特に食品を介した食中毒事例が多く報告されます。厚生労働省の食中毒統計によると(表参照)、カンピロバクターを原因菌とする食中毒件数が最も多く、全体の3/4を占めます。一方、患者数ではカンピロバクターに次いでウエルシュ菌による患者が多く、1事例当たりの患者数は53.0人と、時に大規模な事例がおこることがあります。

ウエルシュ菌による食中毒は、6~18時間の潜伏期間の後、腹痛と下痢症状が出現します。ウエルシュ菌は熱に強く、カレーやスープなどの煮込み料理が原因食品となり、大量調理を行う給食施設や仕出し弁当屋等から報告されています。調理後、室温で放置すると徐々に冷える間にウエルシュ菌は急速に増殖します。対策として、調理後速やかに食べる、保存する場合は10℃以下か55℃以上を保つことで菌の増殖を抑制できます。

新型コロナウイルス感染症の流行により、外食を控え、持ち帰り弁当を提供する飲食店が増えました。気温の上昇により、食中毒のリスクが高くなっていることから、販売店、購入者共に、手洗いなどの基本的な感染予防に加え、食品の温度管理にも気を付けましょう。

原因菌	件数	患者数	1事例当たりの
	n (%)	n (%)	患者数
カンピロバクター	286 (74.3)	1937 (40.9)	6.8
ぶどう球菌	23 (6.0)	393 (8.3)	17.1
ウエルシュ菌	22 (5.7)	1166 (24.6)	53.0
サルモネラ属菌	21 (5.5)	476 (10.0)	22.7
腸管出血性大腸菌(VT産生)	20 (5.2)	165 (3.5)	8.3
その他の病原大腸菌	7 (1.8)	373 (7.9)	53.3
セレウス菌	6 (1.6)	229 (4.8)	38.2

出典 厚生労働省「R1食中毒統計」

### 《 全数報告の感染症 》

- 四類感染症 レジオネラ症 1件 (60歳代、男性、肺炎型)
- 五類感染症 ウイルス性肝炎 1件 (第21週診断分：40歳代、男性、B型)
- 梅毒 4件 (①第15週診断分：20歳代、男性、早期顕症梅毒Ⅰ期  
②第16週診断分：40歳代、男性、早期顕症梅毒Ⅰ期  
③第20週診断分：30歳代、男性、早期顕症梅毒Ⅱ期  
④第21週診断分：40歳代、男性、早期顕症梅毒Ⅰ期)

### 《 定点報告の感染症 》

今週の県内上位5疾患		定点あたりの数	
順位	疾病名	今週 (増減)	先週
1位	感染性胃腸炎	1.69 (↑)	1.52
2位	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.48 (↑)	0.38
3位	突発性発しん	0.41 (↑)	0.21
4位	ヘルパンギーナ	0.14 (↑)	0.03
5位	咽頭結膜熱	0.10 (→)	0.10

この内容は以下のホームページでさらに詳しくご覧いただけます  
アドレス <http://www.pref.toyama.jp/branches/1279/kansen/>

○感染症発生動向調査報告状況（令和2年第22週 令和2年5月25日～令和2年5月31日）

分類	疾患	今週報告分（第22週）						累積報告数					
		新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	新川	中部	高岡	砺波	富山市	計
指定感染症	新型コロナウイルス感染症							5	5	17	7	193	227
二類感染症	結核							3	2	15	4	17	41
三類感染症	腸管出血性大腸菌感染症									3		4	7
四類感染症	E型肝炎							2					2
	A型肝炎							8				1	9
	デング熱											1	1
	レジオネラ症			1			1	1		5	1	5	12
五類感染症	アメーバ赤痢											1	1
	ウイルス性肝炎											1	1
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症							1		3	1	3	8
	急性脳炎							2				1	3
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症									2		4	6
	侵襲性肺炎球菌感染症							1		1		3	5
	水痘（入院例）							1	2	2		2	7
	梅毒							2		2		9	13
	破傷風											1	1
	百日咳										24	2	26
	定点疾病 (下段は定点当たりの患者数を示す)	インフルエンザ							625	290	890	567	1,190
RSウイルス感染症								2	5	26	4	35	72
咽頭結膜熱			1	1		1	3	53	55	89	8	71	276
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		1	1	8	2	2	14	92	160	994	158	1,225	2,629
感染性胃腸炎		14	8	7	2	18	49	596	331	441	226	1,303	2,897
水痘								28	29	47	16	86	206
手足口病								18	1	13	4	39	75
伝染性紅斑								9	26	27		156	218
突発性発しん			2	4	1	5	12	14	13	78	27	50	182
ヘルパンギーナ		2				2	4	30		8	1	3	42
流行性耳下腺炎									3	3	4	6	16
流行性角結膜炎									5	7	2		14
無菌性髄膜炎											1	4	5
マイコプラズマ肺炎								1	4	15	16	9	45
感染性胃腸炎（ロタウイルス）										2	2		4
インフルエンザによる入院患者（*）								42	5	28	73	53	201

本週報のデータは速報値であり、今後、調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。

\*インフルエンザによる入院患者累計報告数とは、令和元年第36週(9月2日)～の集計です。